2026 年度　桐朋女子中学校入学試験（B 入試）

筆記試験（社会）

【注意】

(1)　問題冊子が配られても，開いてはいけません。

(2)　問題冊子は 1 ページから 9 ページまであります。

(3)　「はじめてください」と言われたら，まず，問題冊子の表紙と解答用紙に，それぞれ受験番号と氏名を書きなさい。

(4)　答えはすべて解答用紙に書きなさい。

(5)　語句を答えるときは，漢字で書けるものは漢字で解答しなさい。

(6)　問題冊子に書きこみをしてもかまいません。

(7)　解答用紙の※印の空らんには何も書いてはいけません。

(8)　「やめてください」と言われたら，すぐに筆記用具をおき，解答用紙も問題冊子も表を上にして，机の上におきなさい。

(9)　試験時間は 30 分間です。

受験番号		氏名	

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

a)弥生時代には、稲作が日本の各地に広まりました。人々は共同で農作業を行い、やがて各地に小さなクニができました。b)佐賀県の【　A　】遺跡では、集落のまわりに二重の濠が作られたり、高い物見やぐらが作られたりして戦いにそなえました。集落の中には宮殿のような大きな建物が建てられたほか、竪穴住居や高床倉庫などが作られました。これらの建物は、地面に穴を掘って柱をうめる形で建てられました。

飛鳥時代やc)奈良時代になると都が作られ、そこには宮殿や役所、寺院などが作られるようになりました。宮殿の建物もはじめは地面に穴をほって柱を立て、屋根は茅や板をふきました。ただ、柱を直接地面に立てると、その根元が雨水などにふれてくさりやすいという欠点がありました。律令制度や仏教の伝来とともに、中国から新しい建築技術が伝えられました。それは礎石といわれる大きめの石を地面の上におき、その上に柱を立てます。屋根には粘土をかためて焼いた瓦をふきました。瓦の屋根はとても重く、そのことが建物をしっかりと支えました。たとえば、聖徳太子が建てた奈良県の【　B　】の五重塔や、平城京の宮殿などもこの建て方で作られました。

d)戦国時代に入ると、各地の大名が戦いに備えて城を築くようになりました。e)鉄砲も伝えられたので、その攻撃から建物を守るために、さまざまな工夫が行われました。兵庫県の【　C　】やf)長野県の松本城は、現存する城として有名です。

江戸時代の末に日本は開国しました。開港地となったg)北海道の【　D　】には五稜郭という五角形をした城が築かれました。その直後に行われた戊辰戦争では、はげしい戦いがこの城で行われました。

h)明治時代になると、政府が欧米から外国人を招き、さまざまな知識や技術を導入しました。その一人がイギリス人の建築家ジョサイア＝コンドルです。彼は本格的な西洋建築を日本に伝えました。条約改正のために作られた鹿鳴館や、旧岩崎邸などを建てました。コンドルから西洋建築を学んだ辰野金吾は、日本銀行本店や東京駅などを建てました。西洋建築を作る動きは各地にも広まり、i)岩手県では旧岩手銀行本店など、れんがづくりの建物が建てられました。

大正時代には【　E　】という大地震がおこり、東京周辺は大きな被害を受けました。木造の家は地震の後の火災で焼け、れんがづくりの建物はくずれてしまいました。この後、災害に強い町づくりが進みました。たとえば、j)国会議事堂は大理石で作られ、k)地震にも火災にも強い建物です。

l)昭和時代の後半には、工業が急速に発展して、日本製品が世界各国へたくさん輸出されるようになりました。高いビルの建設も次々に行われ、霞が関ビ

ルやm)東京都庁など超高層ビルの建設が進みました。超高層ビルの建設については地震にそなえてさまざまな技術が使われましたが、その中にはかつて五重塔の建設に使われた技術も取り入れられています。

問１　文中の空らん【　A　】～【　E　】にあてはまる語を答えなさい。

問２　下線部 a)について、弥生時代の人々の生活について述べた文として、正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア　打製石器を使ってマンモスやナウマンゾウなどの大型動物をとって、食料にしていた。

イ　水田を牛や馬を使って耕し、肥料を使ったり、二毛作をしたりした。

ウ　口分田という田があたえられてそこを耕し、租・調・庸などの租税を納めた。

エ　水田をくわやすきで耕し、稲を植えて育て、石包丁を使って収穫した。

問３　下線部 b)について、あとの問いに答えなさい。

(1)佐賀県の位置を地図から選び、記号で答えなさい。

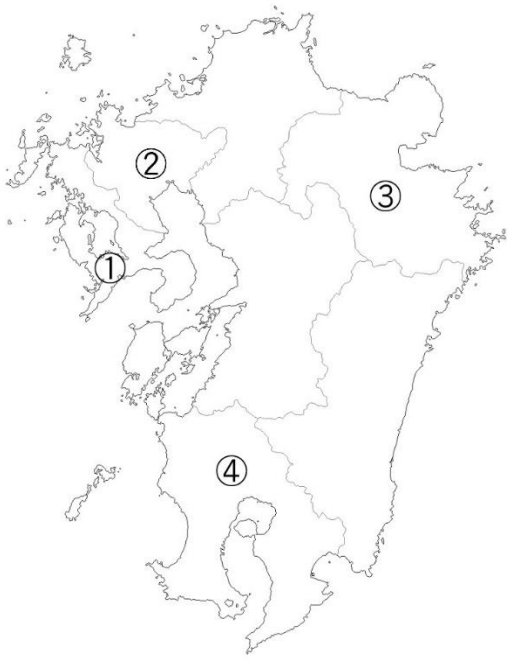
(2)佐賀県の南に広がる海の名称とそこでさかんに行われている養殖されるものの組み合わせとして正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア　有明海／のり

イ　八代海／のり

ウ　有明海／ホタテ貝

エ　八代海／ホタテ貝



問４　下線部 c)について、奈良時代の貴族の生活について述べた文として、正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア　高い位をもち、太政官など国の役所の役人となって、律令政治を支えた。

イ　あらたに作られた議会の貴族院議員となり、国の政治を支えた。

ウ　天皇と深い関係を作り、摂政（せっしょう）・関白となって国の政治を行った。

エ　荘園（しょうえん）を支配してそこからの収入で暮（く）らし、伝統産業や伝統文化を支えた。

問５　下線部 d)について、戦国時代の武士の生活について述べた文として、正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア　大名家の役人として領地の支配に取り組んだり、参勤交代のともをして江戸に出かけたりした。

イ　力のある武士の中には、仕えていた大名を倒（たお）して、自ら大名となるものもいた。

ウ　将軍と主従関係を結んだ武士は御家人とよばれ、土地の支配を認めてもらう代わりに戦いがおこると真っ先に出かけて戦った。

エ　廃刀令（はいとう）が出されて刀をさすことが禁止され、わずかなお金をもとに別の仕事をさがした。

問６　下線部 e)について、鉄砲の攻撃から建物を守るために、どのような工夫が行われたでしょうか。次の写真を参考にしてあなたの考えを書きなさい。



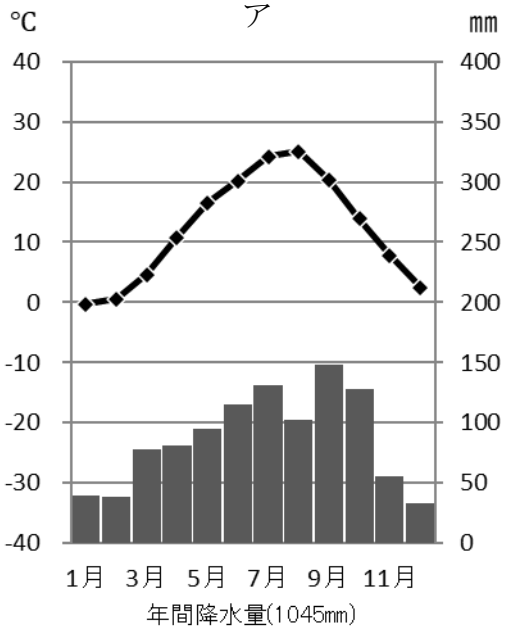
問７　下線部 f)について、あとの問いに答えなさい。

(1)長野県の松本盆地(ぼんち)では農業がさかんです。特に、米や野菜のほかに有名な果物が生産されています。それは何か、次の中から１つ選び、記号で答えなさい。

ア　マンゴー　　イ　りんご　　ウ　みかん　　エ　びわ

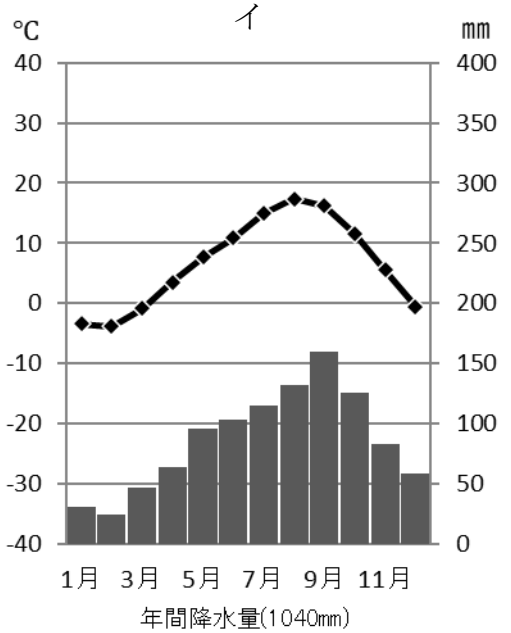
(2)松本盆地は内陸性の気候です。次の雨温図は根室、東京、松本、那覇のいずれかを表しています。松本の雨温図を１つ選び、記号で答えなさい。

ア



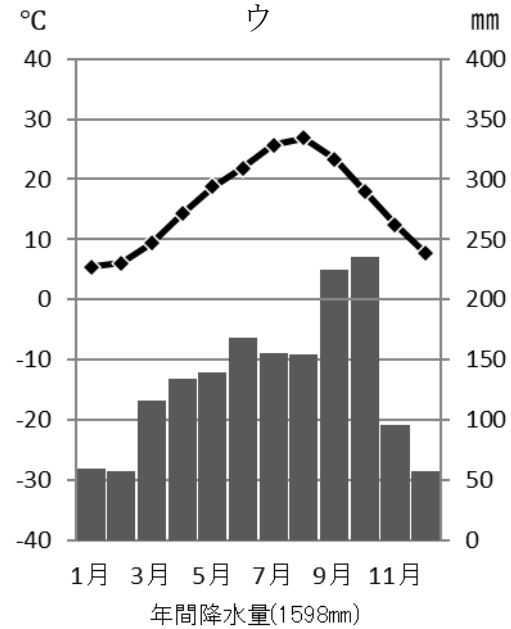
年間降水量(1045mm)

イ



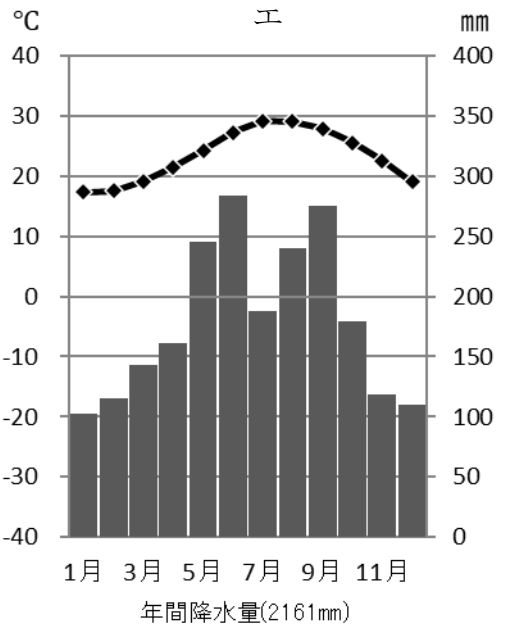
年間降水量(1040mm)

ウ



年間降水量(1598mm)

エ



年間降水量(2161mm)

理科年表 2024 より作成

問８　下線部 g)について、下の写真は北海道の根釧台地の上空から撮影(さつえい)したものです。これをみて、あとの問いに答えなさい。

(1) この地域について述べた文として、正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア　水を得やすい土地であり、水田が広がり米の生産地となっている。

イ　やせた土地を改良して、牧草を育てて乳牛を飼育している。

ウ　栄養分のある豊かな土を活かして、小麦やピーマンの生産がさかんである。

エ　水はけのよい土地であり、すいかやイチゴの生産地として名高い。

(2) ところどころに木が列のように並んで植えられています。どのような目的で木を植えていると考えられますか、説明しなさい。



問９　下線部 h)について、明治時代の人々の生活について述べた文として、正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア　植民地となった朝鮮や、満州に多くの農民が移民としてわたり、そこで開拓を進めた。

イ　オランダの医学書をほんやくして『解体新書』が出版されるなど、西洋医学が紹介された。

ウ　小学校や中学校が作られ、少しずつ学校に通う子どもも増えていき、この時代の終わりごろにはほとんどの子どもが小学校に通うようになった。

エ　ポルトガル人が貿易のためにやってきて、パン、ズボン、カルタ、カステラなどの品物を伝え、日本人は生活の中に少しずつ取り入れていった。

問 10　下線部 i)について、岩手県の伝統工芸について述べた文として、正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア　原料となる砂鉄や木炭用の木材が豊富に産出し、江戸時代に京都から職人を招いたことによって南部鉄器の生産がさかんになっていった。

イ　うるしの木が自生しており、室町時代には初期から輪島塗りの食器の生産がさかんになっていった。

ウ　絹や麻の産地であり、染め物の大切な工程でもある「水洗い」に適した河川にめぐまれたことから、友禅染がさかんになっていった。

エ　ねばり気のある良質な土が産出され、江戸時代には登り窯が築かれたことにより、有田焼が大量に生産できるようになった。

問 11　下線部 j)について、国会のしくみを述べた次の文章の空らん〔　1　〕〔　2　〕にあてはまる語をそれぞれ答えなさい。

国会では、国民が選んだ代表者である国会議員が国民にかわって話し合い、法律や〔　1　〕の決定、条約の承認などを行っています。内閣や国会議員がつくった法律案は衆議院と参議院で審議し、可決すれば法律となります。本会議での審議が行われる前には、さまざまな分野の専門家や学者などの意見を聞いて参考にするために〔　2　〕が開かれることもあります。

問 12　下線部 k)について、日本は地震などの自然災害を受けやすい国です。あなたはそれらに備えて、あらかじめどのようなものを用意して非常持ち出し袋に入れておこうと考えますか。命に関わるものとして重要だと思うものを３つあげ、その理由をそれぞれ説明しなさい。

問 13　下線部 l)について、昭和時代後半の人々の生活について述べた文として、正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア　男性は召集令状が送られてくると戦争に行き、女性や子どもは兵器工場で働いたり、国防のための訓練を行ったりした。

イ　一人一人が携帯電話やスマートフォンを持つようになり、いつでもどこでも連絡をとりあうようになった。

ウ　各家庭にカラーテレビやクーラー、自動車などが普及して便利になり、子どもたちの多くは高等学校などに進学するようになった。

エ　長く差別を受けてきた人々が、全国水平社という団体をつくり、差別問題の解決を目指した。

問 14　下線部 m)について、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

東京都庁の見学のまとめ

私は冬休みに、東京都庁へ見学に行きました。都議会の広報室では都議会の仕組みや都庁の役割についてたくさん学ぶことができました。日本では各地域の実情に合った政治を行うため、国とは別に、東京都や調布市といった単位でも政治を行っています。地域に合わせた政治を行う都道府県や市町村のことを〔　1　〕といい、その数は日本全体で約 1800 あります。

東京都庁は、日本の首都である東京の行政の中心地であり、約 10000 人の職員が働いています。その長をつとめているのが X) 東京都知事です。

Y) 現在東京都には外国人をふくめて約 1400 万人が住んでいます。東京都は、住民の暮らしを守るため、教育や福祉、就労支援などさまざまな取り組みを行っています。それでも人口がとても多いので、すべての要望を聞くことは難しいです。そのため、行政に対する人々の不満や苦情を聞いて調査し、行政に改善を働きかける人がいます。その人たちを〔　2　〕といいます。私は、老朽化した道路の割れ目がきれいに直された様子を見て、私たちの暮らしが良くなっていることを実感しました。

(1)文中の空らん〔　1　〕〔　2　〕にあてはまる語をそれぞれ答えなさい。

(2) 下線部 X)について述べた文として、正しいものを１つ選び、記号で答えなさい。

ア　知事は議会からの投票で選ばれる。

イ　知事の任期は 6 年である。

ウ　議会による不信任決議が可決された場合、知事は議会を解散することもできる。

エ　有権者の 50 分の 1 以上の署名があれば知事に対して解職請求(せいきゅう)をすることができる。

(3) 下線部 Y)について、下の表は 2025 年 1 月 1 日時点の東京都と日本の人口を示したものです。この２つの表に共通してみられる特徴(とくちょう)のうち、現在の日本社会の状況(じょうきょう)をあらわしているものを１つあげなさい。また、なぜそのような特徴になったのか説明しなさい。

東京都の総人口に対する割合			
年れい	日本人	外国人	合計
0～9	6.71%	0.29%	7.00%
10～19	7.49%	0.37%	7.86%
20～29	11.57%	1.58%	13.15%
30～39	12.25%	1.25%	13.50%
40～49	13.90%	0.75%	14.65%
50～59	15.07%	0.49%	15.56%
60～69	10.17%	0.27%	10.44%
70～79	9.57%	0.10%	9.67%
80～89	6.43%	0.04%	6.47%
90～99	1.64%	0.01%	1.65%
100以上	0.05%	0.00%	0.05%
計	94.85%	5.15%	100.00%

東京都人口推計より作成

日本の総人口に対する割合			
年れい	日本人	外国人	合計
0～9	6.80%	0.14%	6.94%
10～19	8.44%	0.16%	8.60%
20～29	9.38%	0.94%	10.32%
30～39	10.07%	0.62%	10.69%
40～49	12.80%	0.36%	13.16%
50～59	14.58%	0.26%	14.84%
60～69	11.87%	0.15%	12.02%
70～79	12.93%	0.08%	13.01%
80～89	8.12%	0.03%	8.15%
90～99	2.20%	0.00%	2.20%
100以上	0.07%	0.00%	0.07%
計	97.26%	2.74%	100.00%

統計局人口推計より作成

問 15　エアコンがまだなかった時代に、日本の一般的な住宅では夏の暑さ対策としてどのような工夫が行われていたでしょうか。次の中からあてはまるものをすべて選び、記号で答えなさい。

ア　窓を大きくする。

イ　玄関(げんかん)をせまくする。

ウ　天井(てんじょう)を低くする。

エ　床(ゆか)を高くする。

問 16　時代とともに都会の高層ビルのありかたも変化していきました。かつての高層ビルはオフィスビルとして使われることが多くみられましたが、現在ではオフィス以外にさまざまな施設が入る複合的な高層ビルが多く建設されるようになりました。例えば、低層階（地上 1～3 階）に飲食店やショッピングモール、中層階に企業のオフィス、高層階に住居がはいったビルです。低層階から高層階までこのように使い分けているのはなぜでしょうか。あなたの考えを書きなさい。